

2018/03/23 (Osaka, Japan)

我が社の機械翻訳に対する取り組み



株式会社MK翻訳事務所は、機械翻訳に対して様々な取り組みを行って参りました。2019年1月を目標に、全案件に対して機械翻訳を活用する予定です。これまでの我々の取り組み及びこれからの予定をご紹介します。

2016年末

[Google Translate が商用利用が可能](#)になったため、社内にて機械翻訳＋ポストエディット＋クラウド翻訳システムの組み合わせの検証を開始。

2017年1月

[Hybrid Translation](#) サービスを開始。

* 現在、本サービスは限定的にご提供しております。

2017年3月

日本翻訳連盟のJTFジャーナル(pp 14 to 15, #288)に対して「[ニューラル機械翻訳と特許翻訳](#)」というテーマで記事を執筆

2017年6月

社内に「[機械翻訳部門](#)」を設立。

2017年7月

機械翻訳、生産性向上、翻訳テクノロジー等に関するブログ「www.機械翻訳.com」を開始。

2017年7月

[第4回翻訳cafe会合](#)（場所：関西大学）にて「人工知能とニューラル機械翻訳の現状と未来」というテーマで、弊社代表がパネリストとして登壇。

2017年9月

[The 7th Workshop on Patent and Scientific Literature Translation \(PSLT 2017\)](#) にて弊社代表が「[Neural Machine Translation and Patent Translation from LSP Perspective](#)」というタイトルで講演。

2018年2月

[通訳翻訳ジャーナル2018年春号](#)（「AI時代に生き残るための通訳・翻訳スキル」）に記事を執筆。

2018年1月

学習型機械翻訳（AMT）導入に向けて、社内にて検証を開始。

2018年3月

[言語処理学会第24回年次総会](#)のテーマセッション（翻訳における人間と機械の協働）にて弊社代表が「機械と人間との協働 LSP perspective ～学習型機械翻訳から翻訳プラットフォーム～」というテーマで発表。

2018年3月

社内翻訳者、永原が日本知財翻訳協会の知財翻訳ジャーナルに対して「機械翻訳について思うこと（仮題）」というテーマで記事を執筆。

2018年6月

[IJET Osaka](#)（主催：JAT）にて、社内翻訳者の永原が「機械翻訳を活用した特許翻訳業務の実際（仮題）」というテーマで講演予定

2019年1月

全案件に対して機械翻訳を利用予定。